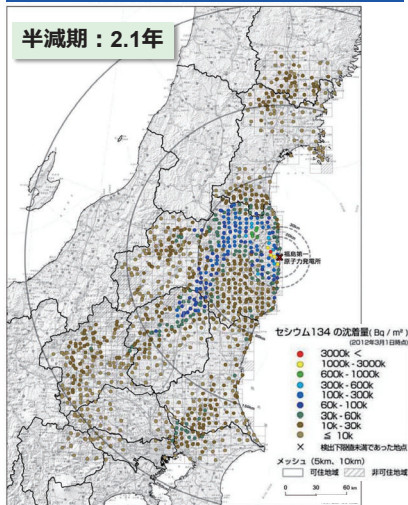
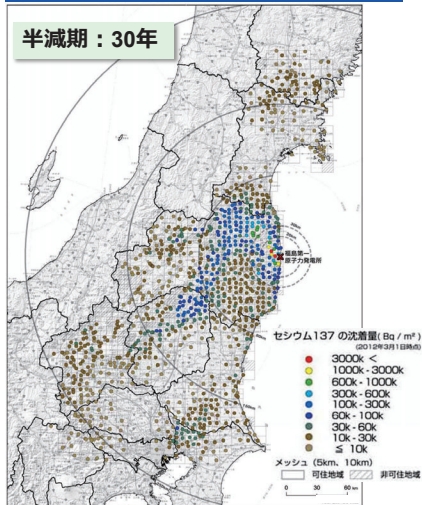


セシウム134の土壤濃度マップ



Bq/m² : ヘクレル/平方メートル

セシウム137の土壤濃度マップ



文部科学省報道発表 平成24年9月12日
(平成24年3月1日現在の値に換算)

2011 (平成 23) 年 12 月から 2012 (平成 24) 年 5 月にかけて行われた土壌調査では、福島県を中心とした東日本の広い地域において、可搬型ゲルマニウム半導体検出器を用いた in-situ 測定^{*}により、放射性核種の土壌沈着量が測定されました。その結果、セシウム 134 とセシウム 137 の分布範囲及び沈着量の量的比率関係を確認したところ、どちらもよく似ていることが確認されました。

また、γ (ガンマ) 線放出核種として放射性セシウム以外に、ヨウ素 131、テルル 129m、銀 110m について核種分析が行われましたが、これらの核種による線量は放射性セシウムに比べて極めて低いことが確認されました。

※：可搬型ゲルマニウム半導体検出器を用いた in-situ 測定：可搬型ゲルマニウム半導体検出器を環境中（近くに建物等のない平坦な場所）に設置し、実際の地面全体を対象として測定を行うことにより、地表面に分布した放射線源からのガンマ線を検出し、地表面に蓄積している放射性物質の平均的な濃度を分析する手法。

本資料への収録日：2013 年 3 月 31 日

本情報は 2012 年の情報で、事故から現在に至る途中経過の情報です。

関連 Q&A

- ・ 3 章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・ 3 章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・ 3 章 QA3 農地土壌の放射性物質による汚染状況はどのようになっていますか
- ・ 3 章 QA4 物理減衰やウエザリング効果は、どの程度だと考えられるのですか
- ・ 3 章 QA21 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- ・ 3 章 QA23 1980 年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム 90 やセシウム 137 が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか